様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	札幌どうぶつ専門学校
設置者名	学校法人高橋学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	犬の美容学科	夜・通信	300	160	
	愛玩動物看護学科	夜・通信	300	240	
	動物福祉学科	夜・通信	300	160	
	専攻科	夜・通信	240	80	
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://s-do.ac.jp/schoolinfo

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	札幌どうぶつ専門学校
設置者名	学校法人　高橋学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

https://s-do.ac.jp/schoolinfo

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	会社経営者	2025.4.1 ～ 2027.3.31	年 1～2 回の理事会を通じて教育課程並びに学校運営についての審議
非常勤	会社経営者	2025.4.1 ～ 2027.3.31	年 1～2 回の理事会を通じて教育課程並びに学校運営についての審議
非常勤	動物病院院長	2025.4.1 ～ 2027.3.31	年 1～2 回の理事会を通じて教育課程並びに学校運営についての審議
（備考）			

様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	札幌どうぶつ専門学校
設置者名	学校法人高橋学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 毎年１回以上、講師と教務担当者が集まり、学習到達目標の達成状況や学習内容、教育内容に関する協議を実施。 シラバス作成は毎年 12 月～2 月に行い、教務担当者と授業担当者が中心となり、カリキュラム検討会議での意見を反映しながら作成する。 学生への公表時期は毎年 4 月（新入生・進級生オリエンテーション時）に学生便覧としてシラバスが配布され、授業内容、到達目標、成績評価基準などについて確認が行われる。	
授業計画書の公表方法	https://s-do.ac.jp/schoolinfo
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） 1 評価方法・基準は、①定期試験　②小テスト・作品・技術力　③レポート　④授業態度　⑤出席率からなり評価割合は講義概要（シラバス）に記載されている。 2 評価は５段階評価とし、各評価項目の割合に対してのポイント合計を下記に当てはめ成績とする。 A　１００～９０ポイント B　８９～８０ポイント C　７９～７０ポイント D　６９～６０ポイント E　５９～　ポイント（単位未修得）	
３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

本学基礎科目並びに専門科目は全て必修科目であり、評価点数に満たない学生は再試験又は再々試験の対象となる。
これらについては、学生便覧にて公表している。

〈GPA の算出方法〉
A 評価４点、B 評価３点、C 評価２点、D 評価１点、E 評価０点。
各教科の評価を上記数値に置換え、単位数×評価点を算出。
全教科の合計点を総単位数で割り小数点第２位を四捨五入した数値。

客観的な指標の算出方法の公表方法	https://s-do.ac.jp/schoolinfo

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

卒業は本学が定める所定の単位を修得した者、または修得見込み者に対し、毎年２月末から３月上旬にかけて行われる卒業認定会議にて認定を受ける。
卒業認定会議は、学校責任者および教務担当教員が中心となり実施され、学生一人一人の学業成績や単位修得状況などをもとに卒業認定の可否を審査する。
卒業認定がなされた学生については、認定結果が学内掲示板に公示される。

卒業の認定に関する方針の公表方法	https://s-do.ac.jp/schoolinfo

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	札幌どうぶつ専門学校
設置者名	学校法人　高橋学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://s-do.ac.jp/schoolinfo
収支計算書又は損益計算書	https://s-do.ac.jp/schoolinfo
財産目録	https://s-do.ac.jp/schoolinfo
事業報告書	https://s-do.ac.jp/schoolinfo
監事による監査報告（書）	https://s-do.ac.jp/schoolinfo

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
商業実務		専門課程	犬の美容		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1890 単位時間／81 単位	580 時間/38 単位	単位時間/単位	1310 時間/43 単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40 人	33 人	0 人	6 人	18 人	24 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）年数回開催のカリキュラム検討会議の中で達成状況、課題・問題点等について協議し、シラバスを作成している。 新年度初日のガイダンスにおいて学生全員に学生便覧という形で配布している。
成績評価の基準・方法
（概要） 1 評価方法・基準は、①定期試験　②小テスト・作品・技術力 ③レポート　④授業態度　⑤出席率からなり、評価割合は講義概要（シラバス）に記載されている。 2 評価は 5 段階評価とし、各評価項目の割合に対してのポイント合計を下記に当てはめ成績とする。 A　１００～９０ポイント B　８９～８０ポイント C　７９～７０ポイント D　６９～６０ポイント E　５９～　ポイント（単位未修得） GPA 導入目的としては学生の成績を数値化し、客観的に把握するため以下の通り算出する。 <GPA の算出方法> A 評価４点、B 評価３点、C 評価２点、D 評価１点、E 評価０点。 各教科の評価を上記数値に置換え、単位数×評価点を算出。 全教科の合計点を総単位数で割り小数点第２位を四捨五入した数値。

卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業は各学科の全科目を履修すること。 本学の定める所定の単位を修得した者、修得見込み者に対し、３月初旬卒業認定会議を実施し、卒業認定者を学内掲示板に公示。
学修支援等
（概要） 本学基礎科目並びに専門科目は全て必修科目であり、評価点数に満たない学生は再試験又は再々試験の対象となる。 これらについては、学生便覧にて公表している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

2024 年度卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19 人 （100%）	2 人 （　10.5%）	17 人 （　　89.5%）	0 人 （　　%）

（主な就職、業界等）
・ペットショップ　・ペットサロン　・動物関連企業

（就職指導内容）
・ペット業界講話～最新のペット業界の現状と今後を知る
・担当教員による個別面談
・長期休業（夏休み・冬休み）を利用した自主的業界実習
・履歴書等の書き方研修
・授業の一環としての学外現場実習
・就職希望企業調査の実施
・ペット業界で活躍中の先輩たちを招いてのトーク会の実施
・ペット業界企業による合同企業説明会への参加
・企業人による職業講話の実施
・就職未活動者に対する個別面談の実施

（主な学修成果（資格・検定等））
・ジュニアトリマーライセンス（初級トリマーライセンス）
・インターミディットトリマーライセンス（中級トリマーライセンス）
・ペットエステティック国際協会認定ペットエステティシャン
・愛玩動物飼養管理士１級・２級
・日本小動物獣医師会　動物診療助手
・ペットフード販売士
・日本ペット BLS 防災学会ペット BLS 検定
・全身障がい者移動介護従業者養成研修
・同行援護従業者養成研修【一般過程】
・動物東洋医学上級講座
・Maui Pet Acupressure　Art TCM Meridian massage Level 1

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
2024年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
42人	2人	4.7%

（中途退学の主な理由）
・身体、精神的
・進路変更

（中退防止・中退者支援のための取組）
・入学前の体験授業（プレカレッジ）などを通じて職業観や本学科での学びについて理解を高め、入学後のミスマッチを防止する。
・動物アレルギーの有無の確認
・個別面談を繰り返し行い、中退を希望する理由の聞き取り、状況によっては保護者の方を交えての面談の実施など早期に行い、防止に努める
・身体的または精神的理由で中退を希望する学生に対して、休学措置の提案
それに関わる奨学金の停止や早期届け出による授業料返還など、復学がスムーズに行われるための措置

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
商業実務分野		専門課程	動物看護		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2770単位時間／144単位	1600時間/106単位	単位時間/単位	1170時間/38単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			2770単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教	兼任教員数	総教員数
人	人	人	人	人	人

※学科廃止につき在籍者無

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）
成績評価の基準・方法
卒業・進級の認定基準
（概要）
学修支援等
（概要）

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
2024 年度卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19 人 （100%）	1 人 （　5.3%）	14 人 （　　73.7%）	4 人 （　21%）

（主な就職、業界等）
・動物病院　・動物関連企業（牧場）

（就職指導内容）
・ペット業界講話～最新のペット業界の現状と今後を知る
・担当教員による個別面談
・長期休業（夏休み・冬休み）を利用した自主的業界実習
・履歴書等の書き方研修
・授業の一環としての学外現場実習
・就職希望企業調査の実施
・ペット業界で活躍中の先輩たちを招いてのトーク会の実施
・ペット業界企業による合同企業説明会への参加
・企業人による職業講話の実施
・就職未活動者に対する個別面談の実施

（主な学修成果（資格・検定等））
・国家試験　愛玩動物看護師
・ジュニアトリマーライセンス（初級トリマーライセンス）
・愛玩動物飼養管理士 1 級・2 級
・日本小動物獣医師会　動物診療助手
・ペットフード販売士
・日本ペット BLS 防災学会ペット BLS 検定
・全身障がい者移動介護従業者養成研修
・同行援護従業者養成研修【一般過程】
・Maui Pet Acupressure　Art TCM Meridian massage Level 1

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
2024 年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20 人	0 人	0%

（中途退学の主な理由）

（中退防止・中退者支援のための取組）
・入学前の体験授業（プレカレッジ）などを通じて職業観や本学科での学びについて理解を高め、入学後のミスマッチを防止する。
・動物アレルギーの有無の確認
・個別面談を繰り返し行い、中退を希望する理由の聞き取り、状況によっては保護者の方を交えての面談の実施など早期に行い、防止に努める
・身体的または精神的理由で中退を希望する学生に対して、休学措置の提案
それに関わる奨学金の停止や早期届け出による授業料返還など、復学がスムーズに行われるための措置

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td>専門士</td><td>高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">商業実務分野</td><td>専門課程</td><td colspan="2">愛玩動物看護</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業
年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">３年</td><td rowspan="2">昼</td><td rowspan="2">2830 単位時間／148 単位</td><td>1660 時間
/110 単位</td><td>単位時間
/単位</td><td>1170 時間
/38 単位</td><td>単位時間
/単位</td><td>単位時間
/単位</td></tr>
<tr><td colspan="5">2830 単位時間／148 単位</td></tr>
</table>

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
90 人	76 人	0 人	5 人	28 人	33 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）年数回開催のカリキュラム検討会議の中で達成状況、課題・問題点等について協議し、シラバスを作成している。
新年度初日のガイダンスにおいて学生全員に学生便覧という形で配布している。

成績評価の基準・方法

（概要）
1 評価方法・基準は、①定期試験　②小テスト・作品・技術力
　③レポート　④授業態度　⑤出席率からなり、評価割合は講義概要（シラバス）に記載されている。
2 評価は 5 段階評価とし、各評価項目の割合に対してのポイント合計を下記に当てはめ成績とする。
　A　１００～９０ポイント
　B　　８９～８０ポイント
　C　　７９～７０ポイント
　D　　６９～６０ポイント
　E　　５９～　　ポイント（単位未修得）
GPA 導入目的としては学生の成績を数値化し、客観的に把握するため以下の通り算出する
<GPA の算出方法>
　A 評価４点、B 評価３点、C 評価２点、D 評価１点、E 評価０点。
　各教科の評価を上記数値に置換え、単位数×評価点を算出。
　全教科の合計点を総単位数で割り小数点第２位を四捨五入した数値。

卒業・進級の認定基準

（概要）
卒業は各学科の全科目を履修すること。
本学の定める所定の単位を修得した者、修得見込み者に対し、３月初旬卒業認定会議を実施し、卒業認定者を学内掲示板に公示。

学修支援等

（概要）
本学基礎科目並びに専門科目は全て必修科目であり、評価点数に満たない学生は再試験又は再々試験の対象となる。
これらについては、学生便覧にて公表している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
2024 年度卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 （100%）	0 人 （　%）	0 人 （　　%）	0 人 （　%）

（主な就職、業界等）

（就職指導内容）
・ペット業界講話～最新のペット業界の現状と今後を知る
・担当教員による個別面談
・長期休業（夏休み・冬休み）を利用した自主的業界実習
・履歴書等の書き方研修
・授業の一環としての学外現場実習
・就職希望企業調査の実施
・ペット業界で活躍中の先輩たちを招いてのトーク会の実施
・ペット業界企業による合同企業説明会への参加
・企業人による職業講話の実施
・就職未活動者に対する個別面談の実施

（主な学修成果（資格・検定等））
（主な学修成果（資格・検定等））
・国家試験　愛玩動物看護師
・ジュニアトリマーライセンス（初級トリマーライセンス）
・愛玩動物飼養管理士 1 級・2 級
・日本小動物獣医師会　動物診療助手
・ペットフード販売士
・日本ペット BLS 防災学会ペット BLS 検定
・全身障がい者移動介護従業者養成研修
・同行援護従業者養成研修【一般過程】
・動物東洋医学上級講座
・Maui Pet Acupressure　Art TCM Meridian massage Level 1

（備考）（任意記載事項）

※2025 年度完成学科の為卒業生無

中途退学の現状		
2024 年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
56 人	0 人	0%

（中途退学の主な理由）

（中退防止・中退者支援のための取組）
・入学前の体験授業（プレカレッジ）などを通じて職業観や本学科での学びについて理解を高め、入学後のミスマッチを防止する。
・動物アレルギーの有無の確認
・個別面談を繰り返し行い、中退を希望する理由の聞き取り、状況によっては保護者の方を交えての面談の実施など早期に行い、防止に努める
・身体的または精神的理由で中退を希望する学生に対して、休学措置の提案
それに関わる奨学金の停止や早期届け出による授業料返還など、復学がスムーズに行われるための措置

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td>専門士</td><td>高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">商業実務分野</td><td>専門課程</td><td colspan="2">動物福祉</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業
年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">２年</td><td rowspan="2">昼</td><td rowspan="2">1892 単位時間／91 単位</td><td>882 時間/単位</td><td>単位時間/単位</td><td>1010 時間/33 単位</td><td>単位時間/単位</td><td>単位時間/単位</td></tr>
<tr><td colspan="5">1892 単位時間／91 単位</td></tr>
</table>

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40 人	29 人	0 人	5 人	28 人	33 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

年数回開催のカリキュラム検討会議の中で達成状況、課題･問題点等について協議し、シラバスを作成している。
新年度初日のガイダンスにおいて学生全員に学生便覧という形で配布している。

成績評価の基準・方法

（概要）
1 評価方法・基準は、①定期試験　②小テスト・作品・技術力
③レポート　④授業態度　⑤出席率からなり、評価割合は講義概要（シラバス）に記載されている。
2 評価は 5 段階評価とし、各評価項目の割合に対してのポイント合計を下記に当てはめ成績とする。
A　１００～９０ポイント
B　８９～８０ポイント
C　７９～７０ポイント
D　６９～６０ポイント
E　５９～　ポイント（単位未修得）
GPA 導入目的としては学生の成績を数値化し、客観的に把握するため以下の通り算出する
<GPA の算出方法>
A 評価４点、B 評価３点、C 評価２点、D 評価１点、E 評価０点。
各教科の評価を上記数値に置換え、単位数×評価点を算出。
全教科の合計点を総単位数で割り小数点第２位を四捨五入した数値。

卒業・進級の認定基準

（概要）
卒業は各学科の全科目を履修すること。
本学の定める所定の単位を修得した者、修得見込み者に対し、３月初旬卒業認定会議を実施し、卒業認定者を学内掲示板に公示。

学修支援等

（概要）
本学基礎科目並びに専門科目は全て必修科目であり、評価点数に満たない学生は再試験又は再々試験の対象となる。
これらについては、学生便覧にて公表している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
2024 卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18 人 （100%）	4 人 （22.2%）	13 人 （72.2%）	1 人 （5.6%）

（主な就職、業界等）
・介護福祉施設　・訓練所　・ペットショップ

（就職指導内容）
・ペット業界講話～最新のペット業界の現状と今後を知る
・担当教員による個別面談、自分研究
・長期休業（夏休み・冬休み）を利用した自主的業界実習
・履歴書等の書き方研修
・授業の一環としての学外現場実習
・就職希望企業調査の実施
・ペット業界で活躍中の先輩たちを招いてのトーク会の実施
・ペット業界企業による合同企業説明会への参加
・企業人による職業講話の実施
・就職未活動者に対する個別面談の実施

（主な学修成果（資格・検定等））
・国際セラピードッグ協会認定ジュニアハンドラー
・ジュニアトリマーライセンス（初級トリマーライセンス）
・愛玩動物飼養管理士 1 級・2 級
・動物福祉コーディネーター
・介護職員初任者研修修了者
・ペットフード販売士
・日本ペット BLS 防災学会ペット BLS 検定
・全身障がい者移動介護従業者養成研修
・同行援護従業者養成研修【一般過程】
・日本小動物獣医師会　動物診療助手
・動物東洋医学上級講座
・Maui Pet Acupressure　Art TCM Meridian massage Level 1

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
2024 年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
36 人	2 人	5.6%

（中途退学の主な理由）
・身体、精神的　・進路変更

（中退防止・中退者支援のための取組）
・入学前の体験授業（プレカレッジ）などを通じて職業観や本学科での学びについて理解を高め、入学後のミスマッチを防止する。
・動物アレルギーの有無の確認
・個別面談を繰り返し行い、中退を希望する理由の聞き取り、状況によっては保護者の方を交えての面談の実施など早期に行い、防止に努める
・身体的または精神的理由で中退を希望する学生に対して、休学措置の提案
それに関わる奨学金の停止や早期届け出による授業料返還など、復学がスムーズに行われるための措置

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td>専門士</td><td>高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">商業実務分野</td><td>専門課程</td><td colspan="2">専攻</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業
年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">１年</td><td rowspan="2">昼</td><td rowspan="2">960 単位時間／32 単位</td><td>単位時間
/単位</td><td>単位時間
/単位</td><td>単位時間
/単位</td><td>960 時間
/32 単位</td><td>単位時間
/単位</td></tr>
<tr><td colspan="5">960 単位時間／32 単位</td></tr>
</table>

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
10 人	7 人	0 人	2 人	1 人	3 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

年数回開催のカリキュラム検討会議の中で達成状況、課題・問題点等について協議し、シラバスを作成している。
新年度初日のガイダンスにおいて学生全員に学生便覧という形で配布している。

成績評価の基準・方法

（概要）
1 評価方法・基準は、①定期試験　②小テスト・作品・技術力
③レポート　④授業態度　⑤出席率からなり、評価割合は講義概要（シラバス）に記載されている。
2 評価は 5 段階評価とし、各評価項目の割合に対してのポイント合計を下記に当てはめ成績とする。
A　１００～９０ポイント
B　８９～８０ポイント
C　７９～７０ポイント
D　６９～６０ポイント
E　５９～　ポイント（単位未修得）
GPA 導入目的としては学生の成績を数値化し、客観的に把握するため以下の通り算出する
<GPA の算出方法>
A 評価４点、B 評価３点、C 評価２点、D 評価１点、E 評価０点。
各教科の評価を上記数値に置換え、単位数×評価点を算出。
全教科の合計点を総単位数で割り小数点第２位を四捨五入した数値。

卒業・進級の認定基準

（概要）
卒業は各学科の全科目を履修すること。
本学の定める所定の単位を修得した者、修得見込み者に対し、３月初旬卒業認定会議を実施し、卒業認定者を学内掲示板に公示。

学修支援等

（概要）
本学基礎科目並びに専門科目は全て必修科目であり、評価点数に満たない学生は再試験又は再々試験の対象となる。
これらについては、学生便覧にて公表している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
2024 年度卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
1 人 （100%）	0 人 （　　%）	1 人 （　　100%）	0 人 （　　%）
（主な就職、業界等）　　・動物関連企業			
（就職指導内容） ・ペット業界講話～最新のペット業界の現状と今後を知る ・担当教員による個別面談、自分研究 ・長期休業（夏休み・冬休み）を利用した自主的業界実習 ・履歴書等の書き方研修 ・授業の一環としての学外現場実習 ・就職希望企業調査の実施 ・ペット業界で活躍中の先輩たちを招いてのトーク会の実施 ・ペット業界企業による合同企業説明会への参加 ・企業人による職業講話の実施 ・就職未活動者に対する個別面談の実施			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・インターミディットトリマーライセンス（中級トリマーライセンス） ・日本小動物獣医師会　動物診療助手 ・日本ペット BLS 防災学会ペット BLS 検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
2024 年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・入学前の体験授業（プレカレッジ）などを通じて職業観や本学科での学びについて理解を高め、入学後のミスマッチを防止する。 ・動物アレルギーの有無の確認 ・個別面談を繰り返し行い、中退を希望する理由の聞き取り、状況によっては保護者の方を交えての面談の実施など早期に行い、防止に努める ・身体的または精神的理由で中退を希望する学生に対して、休学措置の提案 それに関わる奨学金の停止や早期届け出による授業料返還など、復学がスムーズに行われるための措置		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料（年間）	その他	備考（任意記載事項）
犬の美容	100,000 円	600,000 円	250,000 円	
愛玩動物看護	100,000 円	600,000 円	250,000 円	
動物福祉	100,000 円	600,000 円	250,000 円	
専攻科	100,000 円	520,000 円	217,000 円	

修学支援（任意記載事項）

・学費分割納システム
・特待生制度による学費免除

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
・本校ホームページに公表
・本校ホームページ URL・・・http;//s-do.ac.jp

学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）

・学校関係者評価委員は卒業生、地域住民、企業関係者などにより構成される。
・本校が掲げる教育理念・目標、学校運営や教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の受入れ募集、財務、法令などの遵守、社会貢献・地域貢献などにおいた自己評価の結果について、教育活動の観察や意見交換等を通じ評価を行う。
・評価結果を踏まえ教務会議等で教職員に周知するとともに問題点を検討し、学校長以下関係者で次年度の教育活動や学校運営に反映させ改善に取り組む。

学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
有限会社エヌエスクリーン	R7.4.1～R8.3.31	業界の有識者
第一ペット商事株式会社	R7.4.1～R8.3.31	学校評議員
鈴乃屋	R7.4.1～R8.3.31	本校卒業生
元スクールサポート会員	R7.4.1～R8.3.31	地域住民

学校関係者評価結果の公表方法

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
・本校ホームページに公表
・本校ホームページ URL・・・http://s-do.ac.jp

第三者による学校評価（任意記載事項）

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
https://s-do.ac.jp/schoolinfo